

◇ 第4号議案 平成24年度事業計画（案）について ◇

1 事業計画の基本方針

関係行政機関・団体との連携・協力のもと、公益団体として県下事業所における環境保全の取組みの増進を図り、あわせて会員サービスの更なる向上を目指しながら、各種の教育研修事業や普及啓発事業を積極的に実施する。

2 事業計画

事業名		実施内容
1	総会	ア 日時 平成24年5月30日(水) イ 場所 県民共済みらいホール
2	会議	協議会の円滑な運営を図るため、次の会議を開催する。 (1) 理事会 2回(4月、11月) (2) 総務委員会 2回(4月、10月) (3) 企画教育委員会 2回(6月、12月) (4) 広報委員会 2回(5月、9月) (5) 専門部会担当委員会 1回(未定)
3	地区部会活動事業	地域の行政機関、関係団体との連携のもと、地区ごとに研修会を開催するほか、地域の事業等に協力、参画する。 (1) 地域研修会 ア 内容 地域の課題に応じた情報交換と研修 イ 対象 各地区部会の会員事業所 (2) 役員会議 2月
4	公害防止管理者等講習会(環境保全実務者講習会) (県受託予定事業)	公害防止管理者の再教育をとおり、資質の向上を図る。 ア 内容 省エネ、大気、水質、化学物質、廃棄物、土壌等に係る法令及び技術の動向等に関する講習 イ 対象 県内事業所の公害防止管理者及び環境保全担当者 ウ 日程 未定
5	公害防止統括者講習会(トップセミナー) (県受託予定事業)	公害防止意識の喚起と環境管理・監査の導入を促進する。 ア 内容 自主管理のあり方、行政・法規制の動向等に関する講習 イ 対象 県内事業所の公害防止統括者又はその代理者 ウ 日程 未定
6	ISO14001内部環境監査員養成研修会	ISO14001規格の内部環境監査員の養成研修を行う。 (1) 2日間コース：5月9日(水)、10日(木) (2) 個別企業向け1日コース：適宜、会員の要請に応じて開催
7	新ISO14001内部環境監査員ブラシアップ研修会	ISO14001規格の内部環境監査員の再研修を行う。 ア 対象 内部環境監査の経験者 イ 日程 未定
8	生物多様性と企業の役割講座(第3回)	企業現場でできる生物多様性保全のための取組みの実際を学ぶ。 ア 対象 事業所の環境保全担当者 イ 日程 6月8日(金)

事業名		実施内容
9	環境実務後継者育成講座	環境実務者の世代交替に対応して、後継者育成を図る。 ア 対象 事業所の環境実務の初心者等 イ 日程 1月
10	環境保全視察研究会	優良な環境保全施設を見学し、意見交換等を行う。 ア 対象 会員事業所の環境保全担当者等 イ 日程 2月
11	環境講演会	総会後に、一般参加者も対象とした講演会を開催する。 ア 日程 平成24年5月30日(水) イ 講師 宇宙航空研究開発機構 教授 川口 淳一郎 氏
12	環境保全アドバイザー派遣事業	会員事業所からの依頼に基づき、技術支援や企業内研修会への講師として環境アドバイザー（登録者数：16名）を派遣する。
13	会報の発行	環境保全の技術資料とともに、法令、行政、会員の動向等を提供する。 ア 発行回数 3回(4、8、12月) イ 発行部数 約500部
14	ホームページによる情報提供事業	専門部会担当委員会において、有益な環境報等の収集、分析、データ整備を行い、随時ホームページにより環境情報を提供する。
15	表示板・印刷物等の発行、頒布	県条例に規定がある環境管理事業所や指定事業所の表示板、アイドリングストップの啓発看板等を会員等の依頼に基づき製作し頒布する。
16	環境保全表彰	環境保全の自主管理を進め、その実績が優れていると認められる事業所・個人を総会の場で表彰し、その栄誉を称える。
17	関係行政機関・団体との連携・協力事業	県・市町村等で実施される環境保全の取組みに連携、協力する。 (1) 環境保全被表彰者の推薦 県政総合センター所長、県農政局長、県知事、環境大臣などの各種表彰被表彰者を推薦する。 (2) マイアジェンダ登録 事業所として、また従業員家族ぐるみの登録を推進する。 (3) エコドライブ推進 荷主として、また社有や従業員所有車両のエコドライブを推進する。 (4) レジ袋削減に向けたマイバック普及 従業員家族ぐるみでマイバッグ使用を推進する。 (5) 電気自動車の率先導入と来客用駐車場への充電器設置 車両の代替時には率先してEVとするほか、来客駐車場に200V電源の普通充電器などを設置し、利便に供する。 新 (6) こども科学環境講座（県サイエンスサマー登録事業） 子供さんを対象として科学と環境の講座を夏休みに開催する。